

## 高出力 CW-OPO レーザシステム TITAN



## 『Pump と OPO が一体化したアクティブ OPO』



アクティブ OPO シリーズの TITAN は、前例のない励起光のファイバレーザと OPO (光パラメトリック発振器) を単一プラットフォームに統合した、ワンボックス型の小型、広帯域自動波長可変高出力 CW-OPO レーザシステムです。CW 自動波長可変域は近赤外域の 1450 ~ 1980 nm と、中赤外域の 2300 ~ 4000 nm です。レーザの線幅は <100 MHz で完全自動制御 (ハンズフリー) にてご提供します。また、動作ソフトウェアは感覚的に操作可能な GUI を採用し、DLL、LabVIEW VI ドライバの提供が可能です。

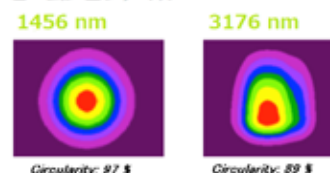
## 特長

- 広帯域自動波長可変: 1450 ~ 1980 nm (シグナル)、2300 ~ 4000 nm (アイトラ)
- 高出力: >5 W (シグナル)、3 W (アイトラ) @ピーク波長
- 卓越したビーム位置安定性とビーム品質
- 全操作: GUI によるハンズフリー動作、DLL 提供可
- レーザヘッド: コンパクト、完全密閉、メンテナンスフリー
- 内蔵分光器による波長表示

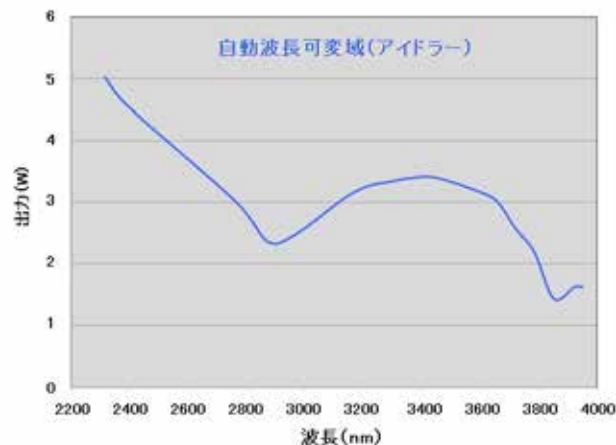
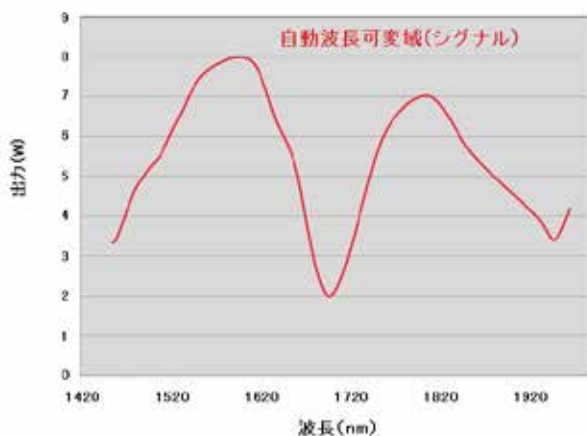
## アプリケーション

- 高分解能レーザ分光
- 計測
- センシング
- 赤外通信
- 顕微鏡励起光源
- 半導体研究

ビームプロファイル



## 波長可変域 (励起 30W 時)



## 仕様

モデル (励起出力)		TITAN-SID1-HP (30 W)	TITAN-SID1-LP (15 W)
自動波長可変域	出力1 (シグナル)	1450 ~ 1980 nm	
	出力2 (アイトラ)	2300 ~ 4000 nm	
CW 出力 (ピーク波長)	出力1 (シグナル)	> 5 W	> 0.3 W
	出力2 (アイトラ)	> 3 W	> 0.2 W
線幅	出力1 (シグナル)	< 100 MHz	
	出力2 (アイトラ)	< 5 GHz	
ビーム径	直径@ 1650 nm	3.0 mm ± 10 %	
	直径@ 3000 nm	5.0 mm ± 10 %	
ビーム品質		TEM <sub>00</sub>	
ビーム位置安定性		< 40 μrad	
ノイズ (シグナル)		< 5 % [rms]	
偏光		直線 (横)	
ヘッド寸法 (L × W × H)		610 × 350 × 200 mm	